

# 東京外かく環状道路連絡協議会

## 第26回 環境保全専門部会

### 工事監視の観測状況について (H23.11月,12月) (H24.1月)

・小山地区	1
・矢切地区	7
・堀之内地区	19
・国分・北台・平川地区	31
・須和田・白幡・菅野・平田・新田地区	37
・平田・新田地区	39
・稻荷木・田尻地区	45
・東西線周辺地区	51
・高谷地区	57

平成24年3月23日

国土交通省首都国道事務所

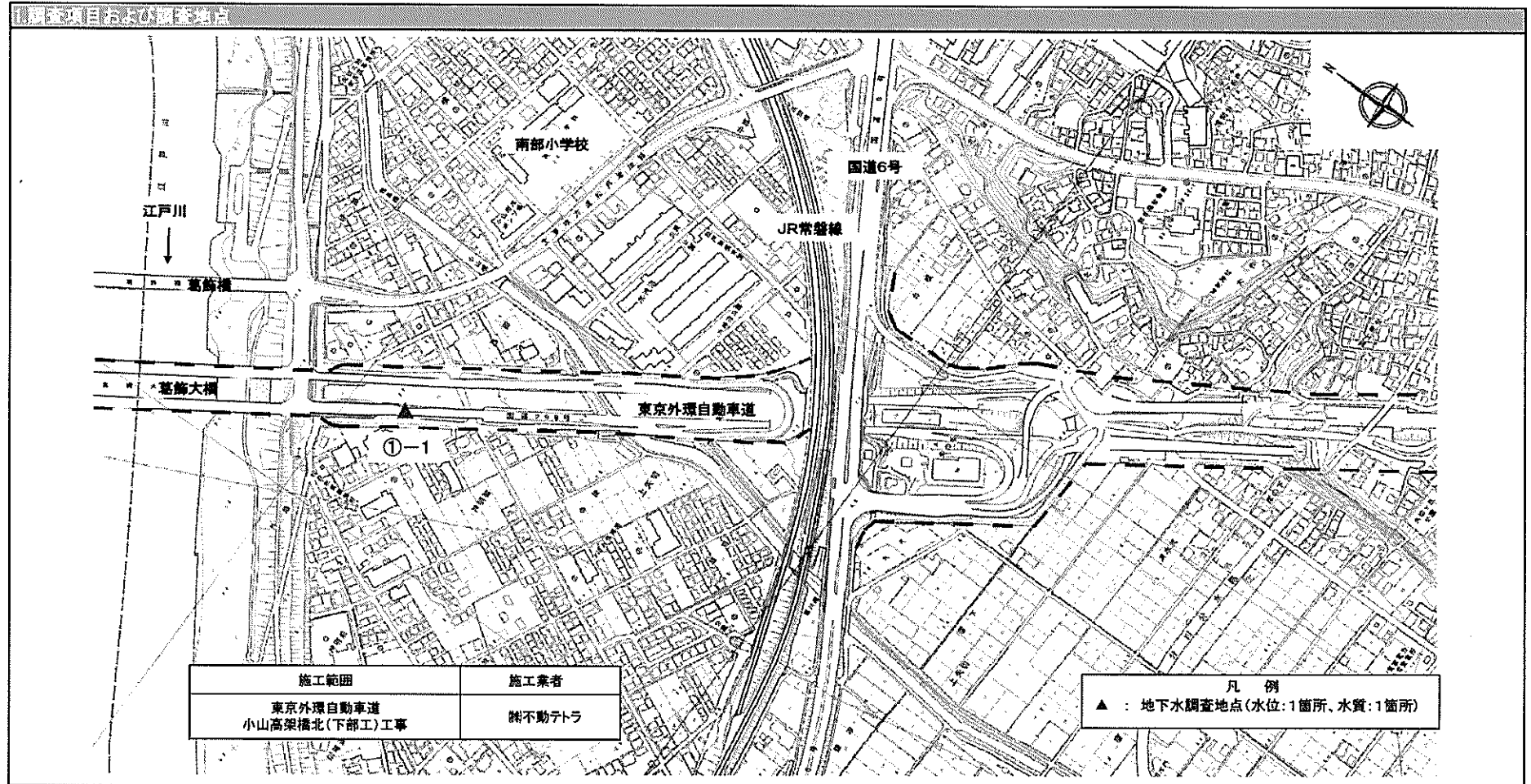
東日本高速道路(株)千葉工事事務所



# 小山地区の11月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等  
についての調査を毎月実施しております。  
そのうち、11月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先 : 東日本高速道路㈱  
千葉工事事務所 環境技術課  
TEL : 043-350-3342



騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
	小山高梁橋北(下部工)工事	対象としていた工事は、実施されませんでしたので、調査は行っておりません。		
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル $L_{A5}$

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル $L_{10}$

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

調査地点	①-1
帯水層	As~Ds3層
pH	6.6
六価クロム(mg/l)	0.005未満

解説

★測定項目について

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから監視・測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

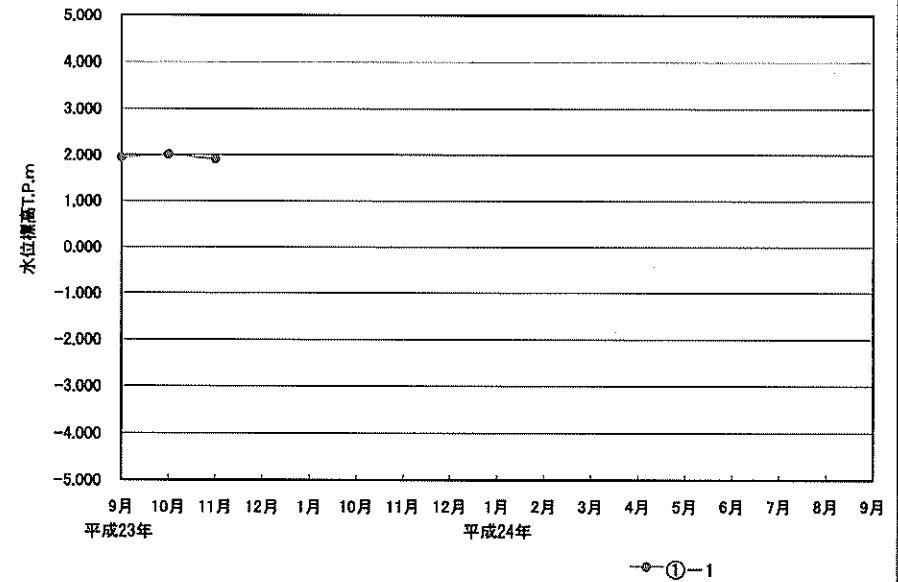
●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは、当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○工事による地下水位の低下は見られません。

調査地点	①-1	
帯水層	As~Ds3	
H23	9月	1,943
	10月	2,003
	11月	1,910



解説

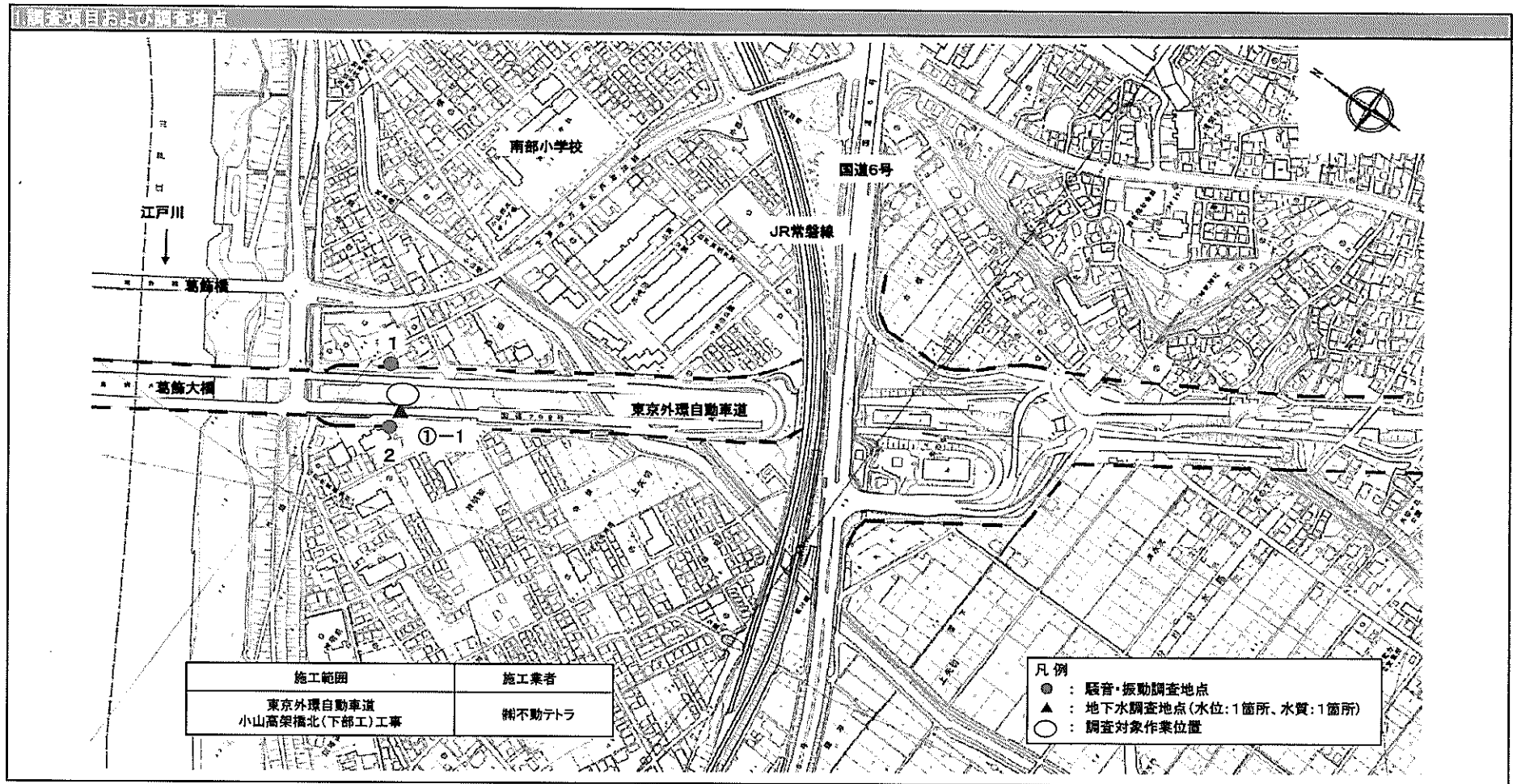
●T.P.m

東京湾平均海面(東京湾中等潮位=T.P.)を基準とした高さを表すもので、地面や水面等の高さを表すときに用います。

# 小山地区の12月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等  
についての調査を毎月実施しております。  
そのうち、12月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先 : 東日本高速道路㈱  
千葉工事事務所 環境技術課  
TEL : 043-350-3342



騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
1	小山高架橋北(下部工)工事	60	45	12月15日
2		58	39	昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説

●騒音レベル $L_{A5}$

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル $L_{10}$

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

地下水調査結果(平成23年12月19日)

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

調査地点	①-1
pH	6.7
六価クロム(mg/l)	0.005未満

解説

★測定項目について

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから監視・測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

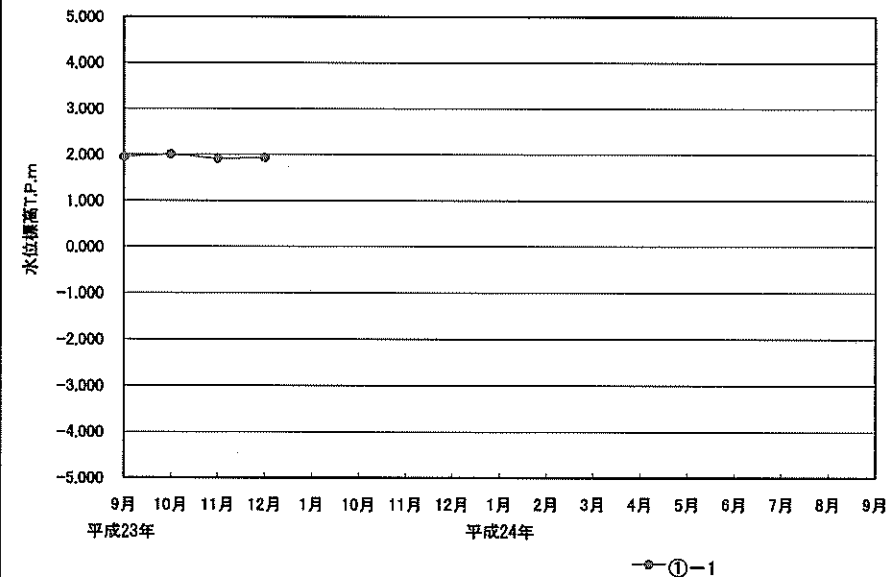
地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは、当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

地下水調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○工事による地下水位の低下は見られません。

調査地点	①-1	
H23	9月	1.943
	10月	2.003
	11月	1.910
	12月	1.930



解説

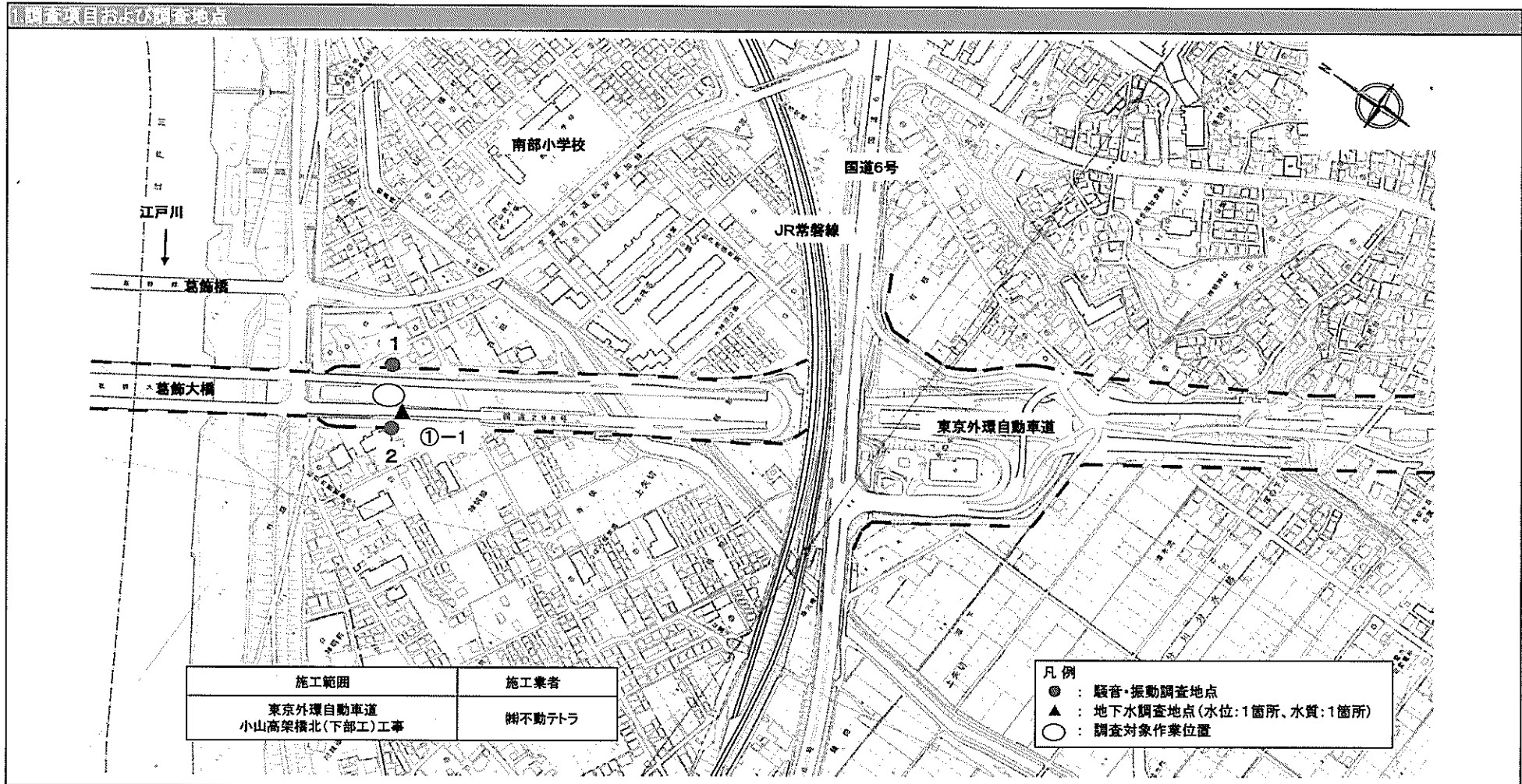
●T.P.m

東京湾平均海面(東京湾中等潮位=T.P.)を基準とした高さを表すもので、地面や水面等の高さを表すときに用います。

# 小山地区の1月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路(株)の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
東日本高速道路(株)千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等  
についての調査を毎月実施しております。  
そのうち、1月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先 : 東日本高速道路(株)  
千葉工事事務所 環境技術課  
TEL : 043-350-3342



2 騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
1	小山高架橋北 (下部工)工事	65	46	1月25日 昼間(8時~17時)
2		63	39	
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説

●騒音レベル $L_{A5}$

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル $L_{10}$

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3 地下水調査結果 (1月1日~1月10日)

地下水調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

調査地点	①-1
pH	6.8
六価クロム (mg/l)	0.005未満

解説

★測定項目について

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから監視・測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは、当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

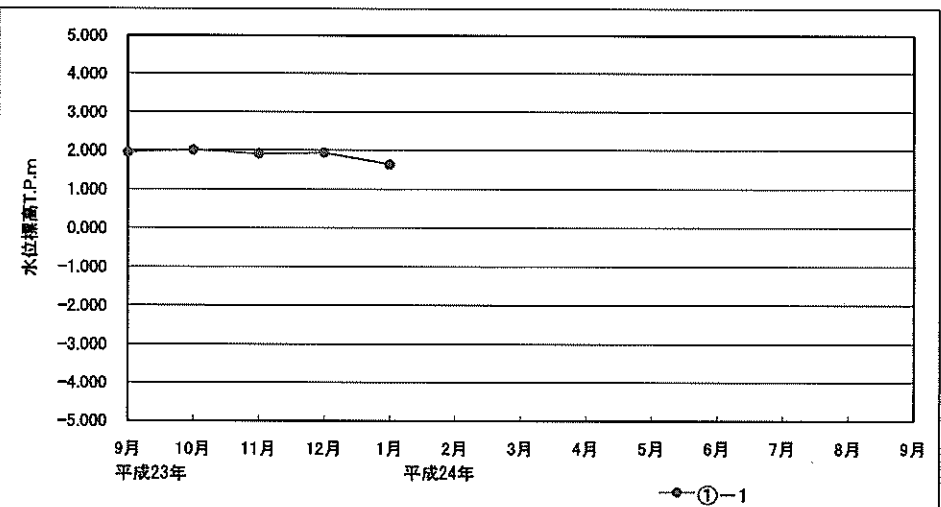
4 地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。

○工事による地下水水位の低下は見られません。

単位:T.P.m

調査地点 ①-1		
H23	9月	1.943
	10月	2.003
	11月	1.910
	12月	1.930
H24	1月	1.640



解説

●T.P.m

東京湾平均海面(東京湾中等潮位=T.P.)を基準とした高さを表すもので、地面や水面等の高さを表すときに用います。



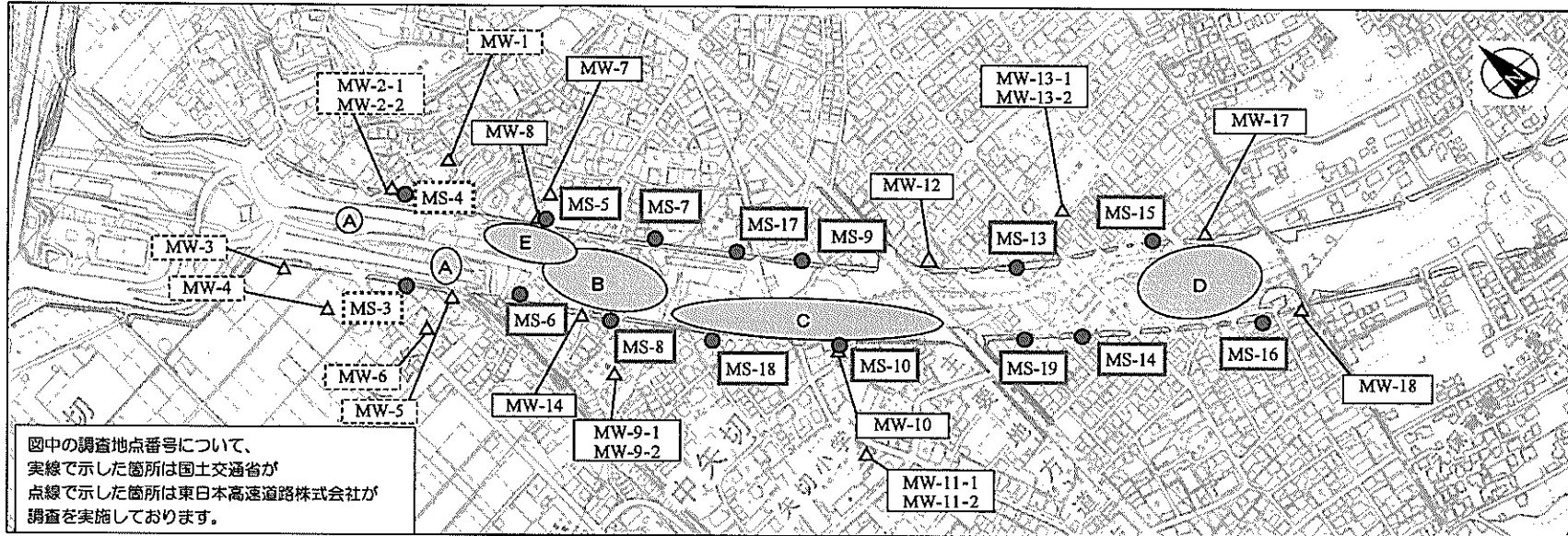
# 矢切地区の11月の調査結果のお知らせ

平素は、国土交通省・東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 国土交通省首都国道事務所及び東日本高速道路株式会社千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、  
 騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。  
 そのうち、11月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■担当窓口	■電話番号
国土交通省関東地方整備局 首都国道事務所 調査設計課	047-362-4115
東日本高速道路株式会社関東支社 千葉工事事務所 環境技術課	043-350-3342

## 1. 調査項目および調査地点

調査項目、および調査地点を下の図に示します。



施工範囲	施工業者
A 小山高架橋南（下部工）工事【専用部】	西松建設（株）
B 矢切函渠その5工事	（株）不動テトラ
C 矢切函渠その6工事	青木あすなろ建設（株）
D 矢切函渠その7工事	（株）大林組
E 矢切函渠その8工事	（株）不動テトラ

凡例

- : 騒音・振動調査地点（15地点）
- ▲ : 地下水位・水質調査地点（水位：20地点、水質：7地点）
- : 工事の施工範囲

2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$  および振動レベル $L_{10}$ の調査結果を下の表に示します。  
 ○ 法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
MS-3	A 小山高架橋南(下部工)工事 【専用部】	57	32	11月24日
MS-4		55	39	
MS-5	B 矢切函渠その5工事 E 矢切函渠その8工事	54	33	11月15日
MS-6		53	33	
MS-7		55	40	
MS-8		53	36	
MS-9	C 矢切函渠その6工事	55	48	11月21日
MS-10		57	41	
MS-17		57	47	
MS-18		55	35	
MS-13	D 矢切函渠その7工事	55	35	11月17日
MS-14		57	36	
MS-15		61	44	
MS-16		56	35	
MS-19		59	39	
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説

●騒音レベル $L_{A5}$

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。

●振動レベル $L_{10}$

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

3. 地下水質調査結果(調査日: 11月16日)

地下水質の調査結果を下の表に示します。  
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

測定地点	MW-2-1	MW-2-2	MW-3	MW-8
pH	6.7	6.4	7.4	7.1
六価クロム (mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
測定地点	MW-10	MW-12	MW-14	/
pH	6.6	7.0	6.6	
六価クロム (mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	

解説

★測定項目について

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあるため監視測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

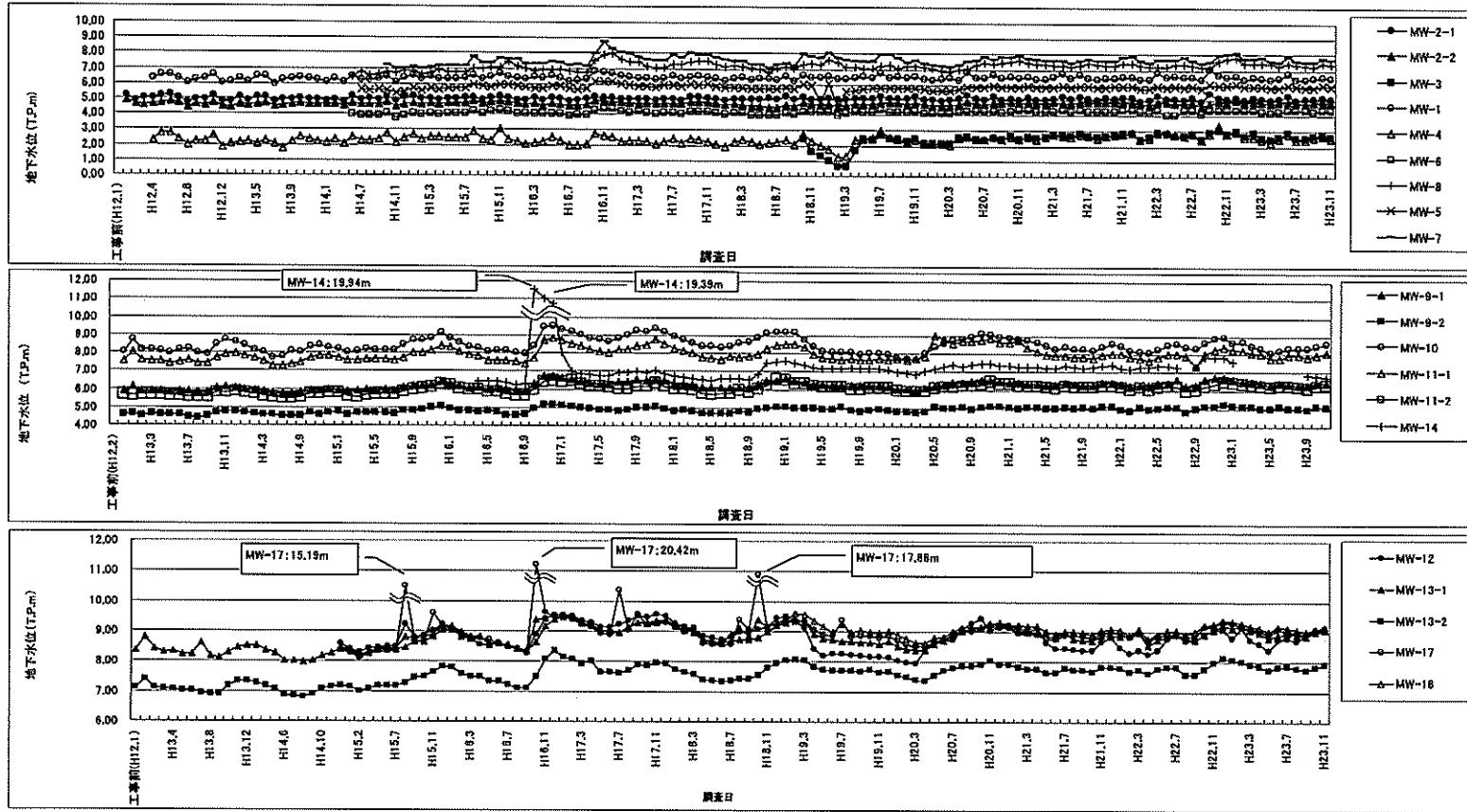
地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

4. 地下水位調査結果 (調査日: 11月14日、15日)

地下水位の調査結果を下の表に示します。  
 ○ これまでに工事による地下水位の低下は見られません。

測定結果の単位は T.P.m

調査月	MW-1	MW-2-1	MW-2-2	MW-3	MW-4	MW-5	MW-6	MW-7	MW-8	MW-9-1
9月	6.43	5.08	4.84	2.62	2.56	5.86	4.25	7.48	7.21	6.29
10月	6.48	5.14	4.87	2.76	2.66	5.98	4.34	7.71	7.39	6.41
11月	6.43	5.09	4.85	2.59	2.50	5.91	4.31	7.62	7.34	6.39
調査月	MW-10	MW-11-1	MW-12	MW-13-1	MW-14	MW-17	MW-18	MW-9-2	MW-11-2	MW-13-2
9月	8.33	7.84	8.87	8.86	6.81	8.88	8.99	4.95	6.11	7.73
10月	8.46	7.93	9.05	8.99	6.75	9.05	9.09	5.09	6.24	7.84
11月	8.56	8.04	9.11	9.06	6.70	9.08	9.14	5.07	6.26	7.91



備考1: 上表の平成15年8月、平成16年10月~12月、及び平成18年10月に確認された地下水位の上昇は、工事に起因するものではないことを確認しております。



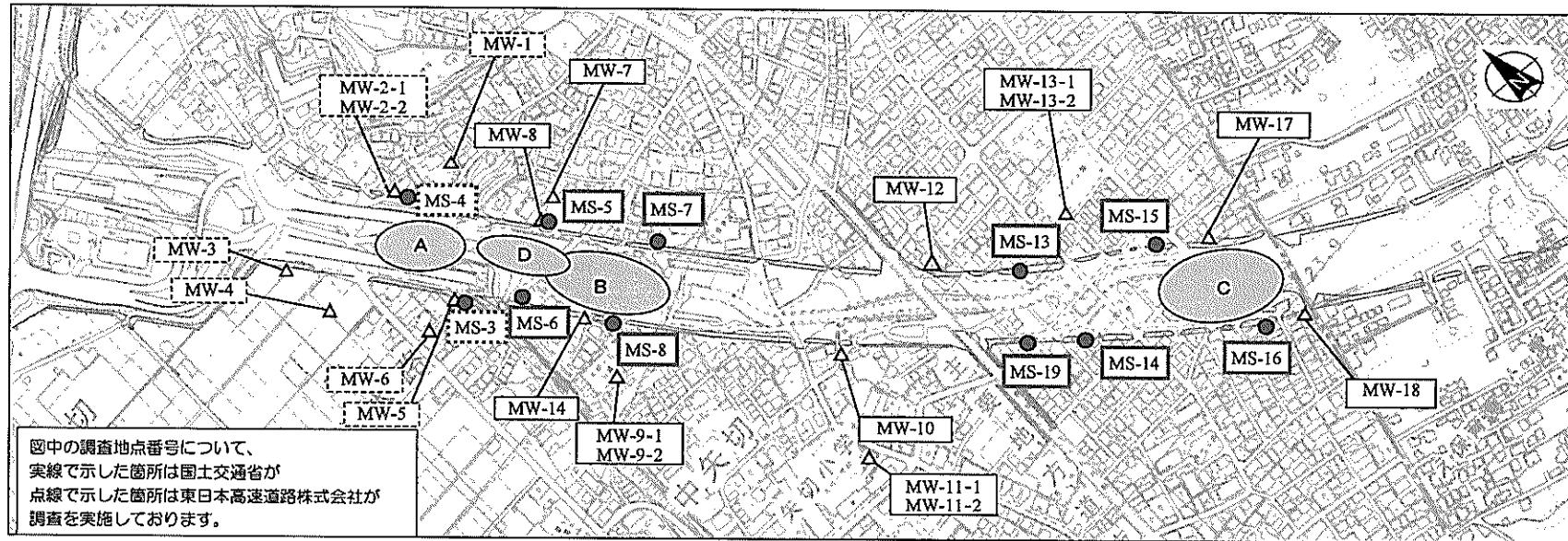
# 矢切地区の12月の調査結果のお知らせ

平素は、国土交通省・東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 国土交通省首都国道事務所及び東日本高速道路株式会社千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。  
 そのうち、12月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■担当窓口	■電話番号
国土交通省関東地方整備局 首都国道事務所 調査設計課	047-362-4115
東日本高速道路株式会社関東支社 千葉工事事務所 環境技術課	043-350-3342

## 1. 調査項目および調査地点

調査項目、および調査地点を下の図に示します。



施工範囲	施工業者
A 小山高架橋南（下部工）工事【専用部】	西松建設（株）
B 矢切函渠その5工事	（株）不動テトラ
C 矢切函渠その7工事	（株）大林組
D 矢切函渠その8工事	（株）不動テトラ

凡例

●	: 騒音・振動調査地点（11地点）
▲	: 地下水位・水質調査地点（水位：20地点、水質：7地点）
○	: 工事の施工範囲